

もり 森林づくりのめざす姿

- 全ての県民に、森林と関わる機会を創出。
- 人々・地域の繋がりが次世代を育成。
- 個人・家庭、企業、NPOなどの団体
そして行政機関などが森林づくりを支える。



森林環境税により、県民と企業の皆さまに支えていただきながら、森林づくりに取り組んでいます。

個人 県内に住所、家屋等を有する方

税率:年額 **1,000円**

※前年の合計所得が一定の金額以下であること等の理由により、県民税均等割が非課税の方には課税されません。

法人 県内に事務所等を有する法人等

税率:年額 法人県民税均等割の10%相当額

- ▶ 公共法人、公益法人等資本金等の額が1,000万円以下の法人… 2,000円
- ▶ 資本金等の額が1,000万円を越え1億円以下の法人… 5,000円
- ▶ 資本金等の額が1億円を越え10億円以下の法人… 13,000円
- ▶ 資本金等の額が10億円を越え50億円以下の法人… 54,000円
- ▶ 資本金等の額が50億円を越える法人… 80,000円

お問合せ先

税の
使いみち
について

福島県農林水産部森林計画課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16(県庁西庁舎6階)
TEL 024-521-7425

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/shinrinkankyousei/>

福島県森林環境税

税の
仕組み
について

福島県総務部税務課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16(県庁本庁舎2階)
TEL 024-521-7067

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115d/>

福島県税務課

みんなで未来へつなぐ 希望の森林づくり

— 福島県森林環境税 —



森林文化のくに・ふくしま県民憲章

わたしたちは、

- 1) 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。
- 2) 森林にふれあい、心豊かに生きます。
- 3) 森林の恵みに感謝し、活かします。
- 4) 森林を守り育て、未来につなぎます。

この県民憲章は、豊かな森林を守り育て、健全な状態で次の世代へ引き継いでいくため、平成17年11月20日に制定しました。



福島県

森林環境税を活用した取り組み

森林環境税条例に基づき2つの基本目標を掲げ、6つの施策分野により、基本理念である「豊かな森林文化のくに・ふくしまの創造」の実現を目指します。

基本目標

森林環境の保全

1 森林環境の適正な保全

間伐などの森林整備を行い、森林の有する公益的機能の十分な発揮を図ります。

里山林の整備



林内作業路の開設



花粉症対策品種のコンテナ苗育成



主な
取り組み

- 水源区域や、水源かん養機能などの公益的機能が高い区域における森林整備や路網整備
- 一貫作業などの低コスト造林技術による伐採後の確実な再生林の推進
- 里山林の整備と里山林を活用した交流
- 花粉症対策品種の種子確保及び苗木の供給 など

基本目標

森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成

3 県民参画の推進

森林への理解を深め、ふれあうことのできる取り組みを行い、「みんなで未来へつなぐ希望の森林づくり」を目指す。

ふくしま植樹祭の開催



森林環境学習のためのフィールド整備



高校生による林業体験



もりの案内人養成講座



主な
取り組み

- 森林づくり意識醸成活動の推進(ふくしま植樹祭の開催など)
- 森林づくりフィールドの整備、積極的な活用促進に向けた施策
- 森林環境教育や学習、活動の推進
- 森林づくり指導者の育成 など

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

木材などの森林資源の適正な循環利用と積極的な利活用に取り組み、林業の成長産業化を図ります。



作業路の開設

間伐材の搬出

木材の利用拡大

木材需要の拡大により
間伐などの
森林整備を促進

▲木材で暖を取るペレットストーブ

主な
取り組み

- 地球温暖化防止に向けた住宅等への県産材利用推進
- 間伐材など未利用木材のバイオマス燃料の利用拡大による低炭素社会の実現
- 木材の利活用に向けたサプライチェーンの構築
- 新たな製品開発への取組
- 住宅建造物の木造化に対する支援 など

4 市町村が行う森林づくり等の推進

市町村の創意工夫による独自の取り組みを支援し、県民一人一人が参画する森林づくりを進めます。

木工体験イベントの開催



森林環境学習の実施



学校等の木造木質化



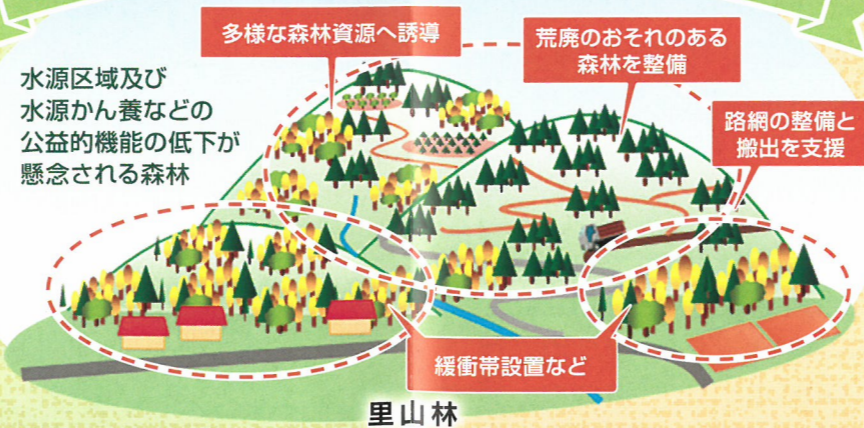
小学校等への木製椅子の導入



主な
取り組み

- 地域住民の森林づくりへの参画促進や幼少期の「木育」の推進
- 学校林や身近な森林を活用した森林環境教育や学習、活動の実施
- 荒廃が懸念される森林や、身近な里山林の整備
- 県産材を使用した学校等の木造木質化や木製品の導入 など

森林環境税を活用した県民一人一人が参画する森林づくり



森林づくり

- 水源かん養などの公益的機能の発揮
- 木材を始めとする森の恵みの有効活用
- 野生生物と共生する里山環境整備

豊かな森林を次世代に引き継ぐ

人づくり・心づくり

- 森林や林業に対する理解の深化
- 県民が参画する森林づくり活動の拡大
- 県産材などの森林資源の利用拡大

5 ふくしまの森林文化の継承

森林の恵みを有効に活用する技術や知恵、風習などの森林文化を、次世代へ引き継いでいく取り組みを進めます。

漆の掻き子育て研修



主な
取り組み

- 森林文化の収集及び情報発信
- 森林文化の継承活動の推進 など

6 森林環境基金の運営

森林の未来を考える懇談会

森林環境基金制度への理解の促進と、事業の適正な運営を行います。



森林・林業とのふれあい

森林環境学習の実施



県産材利用等のPR

